

1 プレゼンテーション内容

審査項目	審査基準		得点	評価点
現状及び課題の認識 【重要項目①】	(1)	板橋区の資源循環行政における情報発信の現状を的確に把握し、課題を明確に抽出できているか。	60	40
統一デザインの基本方針 【重要項目②】	(2)	仕様書に示された方向性を踏まえた、一貫性のある基本方針が提案されているか。	30	20
	(3)	「届ける」から「伝わり、動いてもらう」、そして「共に創る」への進化を実現できる具体的なデザイン戦略が示されているか。	60	37
	(4)	統一感がありながらも、各媒体の特性に応じた柔軟性を持つデザインシステムとなっているか。	30	19
デザインの内容に関する提案 【重要項目③】	(5)	アイコン・ピクトグラムについて、視認性が高く、直感的に理解できるデザインが提案されているか。	60	40
	(6)	色彩計画において、識別性、アクセシビリティ（色覚多様性への配慮等）、心理的効果を考慮した提案がなされているか。	30	22
	(7)	キービジュアルが、メッセージを効果的に伝えるデザイン性になっているか。	60	36
多媒体対応テンプレート群に関する提案 【重要項目④】	(8)	情報の性質及び内容による区分を踏まえた、使い分けがわかりやすいテンプレート群となっているか。	60	37
	(9)	情報媒体それぞれで活用しやすいデザインが提案されているか。	30	19
	(10)	職員が容易に編集・活用できる実用性と、陳腐化しにくい持続性を兼ね備えたテンプレートとなっているか。	30	20
各デザインの展開 (活用場面など)	(11)	提案したデザインシステムが、具体的な活用場面においてどのように機能し、効果を発揮するか、事例を交えて説明されているか。	30	21
業務に対する支援体制 【重要項目⑤】	(12)	業務責任者や業務担当予定者がプレゼンを行い、業務の実施体制が整っているか。デザイナー、ディレクター等の役割分担が明確か。	30	22
	(13)	業務量を把握し、責任者のもとに業務を行う人員が十分整えられているか。	30	21
その他、独自の提案、工夫などアピールしたい事項	(14)	プレゼンテーションは、分かり易く高い表現力を持っており、質疑応答については明確に回答し説得力があるか。ガイドライン作成や庁内会議での対応力に期待できるか。	30	18
	(15)	過去に支援した自治体等での実績を活かした提案や、新たな発想による独自の提案、創意工夫がみられるなど、本業務に対する意欲・熱意が感じられるか。	30	21
			600	393

A：委員一人の持点 100 点×委員 6 名＝600 点

※重要項目順位 ① > ② > ③ > ④ > ⑤

【得点表】	
5点	大変優れている
4点	優れている
3点	普通
2点	やや劣る
1点	劣る

2 事務局による審査

審査項目	審査基準	得点	評価点		
提案内容（概要） 【重要項目①】	区が求めている内容を理解し、実効性のある具体的な提案がされているか。	10	6		
業務実績 【重要項目②】	過去5年間において、同一の業務の実績があるか。	実績がなし	0	10	
		実績が1件	2		
		実績が2件～4件	6		
		実績が5件以上	10		
認証資格等 【重要項目③】	各種認定の取得数 ・ ISO 9001 など、品質に関する認証 ・ ISO14001 など、環境に関する認証 ・ JIS15001 など、個人情報保護に関する認証 ・ ISO27001 など、情報セキュリティに関する認証	取得数0	0	5	
		取得数1	2		
		取得数2	3		
		取得数3	4		
		取得数4	5		
提案金額	契約上限額との差	積算に妥当性がない	0	5	
		5%未満	1		
		5%以上 10%未満	2		
		10%以上 15%未満	3		
		15%以上 20%未満	4		
		20%以上低い	5		
				30	26

B：事務局で採点 30 点

【得点表】	
5点	大変優れている
4点	優れている
3点	普通
2点	やや劣る
1点	劣る

※1 満点はA + B = 630 点とし、評価点が同点の場合は、重要項目順位の高い項目の得点が高い順に順位とする。

※2 評価点の最低基準点（満点の6割）を超えない場合は、提案採用者とししない。

1 プレゼンテーション内容

審査項目	審査基準		得点	評価点
現状及び課題の認識 【重要項目①】	(1)	板橋区の資源循環行政における情報発信の現状を的確に把握し、課題を明確に抽出できているか。	60	40
統一デザインの基本方針 【重要項目②】	(2)	仕様書に示された方向性を踏まえた、一貫性のある基本方針が提案されているか。	30	22
	(3)	「届ける」から「伝わり、動いてもらう」、そして「共に創る」への進化を実現できる具体的なデザイン戦略が示されているか。	60	43
	(4)	統一感がありながらも、各媒体の特性に応じた柔軟性を持つデザインシステムとなっているか。	30	23
デザインの内容に関する提案 【重要項目③】	(5)	アイコン・ピクトグラムについて、視認性が高く、直感的に理解できるデザインが提案されているか。	60	48
	(6)	色彩計画において、識別性、アクセシビリティ（色覚多様性への配慮等）、心理的効果を考慮した提案がなされているか。	30	21
	(7)	キービジュアルが、メッセージを効果的に伝えるデザイン性になっているか。	60	45
多媒体対応テンプレート群に関する提案 【重要項目④】	(8)	情報の性質及び内容による区分を踏まえた、使い分けがわかりやすいテンプレート群となっているか。	60	42
	(9)	情報媒体それぞれで活用しやすいデザインが提案されているか。	30	20
	(10)	職員が容易に編集・活用できる実用性と、陳腐化しにくい持続性を兼ね備えたテンプレートとなっているか。	30	21
各デザインの展開 (活用場面など)	(11)	提案したデザインシステムが、具体的な活用場面においてどのように機能し、効果を発揮するか、事例を交えて説明されているか。	30	21
業務に対する支援体制 【重要項目⑤】	(12)	業務責任者や業務担当予定者がプレゼンを行い、業務の実施体制が整っているか。デザイナー、ディレクター等の役割分担が明確か。	30	21
	(13)	業務量を把握し、責任者のもとに業務を行う人員が十分整えられているか。	30	19
その他、独自の提案、工夫などアピールしたい事項	(14)	プレゼンテーションは、分かり易く高い表現力を持っており、質疑応答については明確に回答し説得力があるか。ガイドライン作成や庁内会議での対応力に期待できるか。	30	21
	(15)	過去に支援した自治体等での実績を活かした提案や、新たな発想による独自の提案、創意工夫がみられるなど、本業務に対する意欲・熱意が感じられるか。	30	22
			600	429

A：委員一人の持点 100 点×委員 6 名＝600 点

※重要項目順位 ① > ② > ③ > ④ > ⑤

【得点表】	
5点	大変優れている
4点	優れている
3点	普通
2点	やや劣る
1点	劣る

2 事務局による審査

審査項目	審査基準	得点	評価点		
提案内容（概要） 【重要項目①】	区が求めている内容を理解し、実効性のある具体的な提案がされているか。	10	6		
業務実績 【重要項目②】	過去5年間に於いて、同一の業務の実績があるか。	実績がなし	0	10	
		実績が1件	2		
		実績が2件～4件	6		
		実績が5件以上	10		
認証資格等 【重要項目③】	各種認定の取得数 ・ ISO 9001 など、品質に関する認証 ・ ISO14001 など、環境に関する認証 ・ JIS15001 など、個人情報保護に関する認証 ・ ISO27001 など、情報セキュリティに関する認証	取得数0	0	5	
		取得数1	2		
		取得数2	3		
		取得数3	4		
		取得数4	5		
提案金額	契約上限額との差	積算に妥当性がない	0	5	
		5%未満	1		
		5%以上 10%未満	2		
		10%以上 15%未満	3		
		15%以上 20%未満	4		
		20%以上低い	5		
				30	18

B：事務局で採点 30 点

【得点表】	
5点	大変優れている
4点	優れている
3点	普通
2点	やや劣る
1点	劣る

※1 満点はA + B = 630 点とし、評価点が同点の場合は、重要項目順位の高い項目の得点が高い順に順位とする。

※2 評価点の最低基準点（満点の6割）を超えない場合は、提案採用者とししない。

1 プレゼンテーション内容

審査項目		審査基準	得点	評価点
現状及び課題の認識 【重要項目①】	(1)	板橋区の資源循環行政における情報発信の現状を的確に把握し、課題を明確に抽出できているか。	60	40
統一デザインの基本方針 【重要項目②】	(2)	仕様書に示された方向性を踏まえた、一貫性のある基本方針が提案されているか。	30	22
	(3)	「届ける」から「伝わり、動いてもらう」、そして「共に創る」への進化を実現できる具体的なデザイン戦略が示されているか。	60	40
	(4)	統一感がありながらも、各媒体の特性に応じた柔軟性を持つデザインシステムとなっているか。	30	22
デザインの内容に関する提案 【重要項目③】	(5)	アイコン・ピクトグラムについて、視認性が高く、直感的に理解できるデザインが提案されているか。	60	41
	(6)	色彩計画において、識別性、アクセシビリティ（色覚多様性への配慮等）、心理的効果を考慮した提案がなされているか。	30	22
	(7)	キービジュアルが、メッセージを効果的に伝えるデザイン性になっているか。	60	37
多媒体対応テンプレート群に関する提案 【重要項目④】	(8)	情報の性質及び内容による区分を踏まえた、使い分けがわかりやすいテンプレート群となっているか。	60	42
	(9)	情報媒体それぞれで活用しやすいデザインが提案されているか。	30	20
	(10)	職員が容易に編集・活用できる実用性と、陳腐化しにくい持続性を兼ね備えたテンプレートとなっているか。	30	19
各デザインの展開 (活用場面など)	(11)	提案したデザインシステムが、具体的な活用場面においてどのように機能し、効果を発揮するか、事例を交えて説明されているか。	30	21
業務に対する支援体制 【重要項目⑤】	(12)	業務責任者や業務担当予定者がプレゼンを行い、業務の実施体制が整っているか。デザイナー、ディレクター等の役割分担が明確か。	30	22
	(13)	業務量を把握し、責任者のもとに業務を行う人員が十分整えられているか。	30	23
その他、独自の提案、工夫などアピールしたい事項	(14)	プレゼンテーションは、分かり易く高い表現力を持っており、質疑応答については明確に回答し説得力があるか。ガイドライン作成や庁内会議での対応力に期待できるか。	30	21
	(15)	過去に支援した自治体等での実績を活かした提案や、新たな発想による独自の提案、創意工夫がみられるなど、本業務に対する意欲・熱意が感じられるか。	30	20
			600	412

A：委員一人の持点 100 点×委員 6 名＝600 点

※重要項目順位 ① > ② > ③ > ④ > ⑤

【得点表】	
5点	大変優れている
4点	優れている
3点	普通
2点	やや劣る
1点	劣る

2 事務局による審査

審査項目	審査基準	得点	評価点		
提案内容（概要） 【重要項目①】	区が求めている内容を理解し、実効性のある具体的な提案がされているか。	10	6		
業務実績 【重要項目②】	過去5年間において、同一の業務の実績があるか。	実績がなし	0	10	
		実績が1件	2		
		実績が2件～4件	6		
		実績が5件以上	10		
認証資格等 【重要項目③】	各種認定の取得数 ・ ISO 9001 など、品質に関する認証 ・ ISO14001 など、環境に関する認証 ・ JIS15001 など、個人情報保護に関する認証 ・ ISO27001 など、情報セキュリティに関する認証	取得数0	0	5	
		取得数1	2		
		取得数2	3		
		取得数3	4		
		取得数4	5		
提案金額	契約上限額との差	積算に妥当性がない	0	5	
		5%未満	1		
		5%以上 10%未満	2		
		10%以上 15%未満	3		
		15%以上 20%未満	4		
		20%以上低い	5		
				30	19

B：事務局で採点 30 点

【得点表】	
5点	大変優れている
4点	優れている
3点	普通
2点	やや劣る
1点	劣る

※1 満点はA + B = 630 点とし、評価点が同点の場合は、重要項目順位の高い項目の得点が高い順に順位とする。

※2 評価点の最低基準点（満点の6割）を超えない場合は、提案採用者としない。